

会 議 録 (要 旨)

会 議 名	平成 2 8 年度瑞穂町子ども・子育て会議（第 1 回）
開 催 日 時	平成 2 8 年 1 0 月 2 5 日（火）午後 6 時 3 0 分から午後 8 時 2 5 分まで
出席者及び 欠 席 者	【出席者】委員 9 名、事務局 3 名 合計 1 2 名 【欠席者】委員 3 名
次 第	<p>1 開 会</p> <p>2 あいさつ</p> <p>3 委嘱状交付及び自己紹介</p> <p>4 報告事項</p> <p style="padding-left: 2em;">（ 1 ）保育料負担軽減について</p> <p style="padding-left: 2em;">（ 2 ）待機児童対策について</p> <p style="padding-left: 2em;">（ 3 ）子育てほっとブック及び子ども・子育て支援新制度なるほど B O O K について</p> <p style="padding-left: 2em;">（ 4 ）その他</p> <p>5 協議事項</p> <p style="padding-left: 2em;">（ 1 ）子ども・子育て支援事業計画の進捗状況等管理票について</p> <p style="padding-left: 2em;">（ 2 ）子ども・子育て会議スケジュールについて</p> <p>6 情報交換</p> <p>7 閉 会</p>
傍 聴 者	なし
配 付 資 料	<p>資料 1 瑞穂町子ども・子育て会議委員名簿</p> <p>資料 2 平成 2 8 年度利用者負担額（保育料）決定通知について</p> <p>資料 3 待機児童推移</p> <p>その他 子育てほっとブック及び子ども・子育て支援新制度なるほど B O O K</p> <p>事前資料 瑞穂町子ども・子育て支援事業計画進捗管理票 （計画の基本的事業及び計画の体系）</p>
会 議 内 容 （主な意見 等を原則と して発言順 に記載。）	<p>1 開 会</p> <p style="padding-left: 2em;">事務局から、事前資料・配付資料の確認。</p> <p style="padding-left: 2em;">会議に際し、定足数に達しているため成立したことを確認。以降の進 行を会長にお願いした。</p>

2 あいさつ

本日初出席の委員がいるため、会長から本会議の主旨説明とあいさつ。

3 委嘱状交付及び自己紹介

事務局から報告。公募委員1名から委員を辞めたい旨の申し出があり、追加募集を行った結果、2名の応募があり、そのうち1名を決定した。

福祉課長から新任委員へ委嘱状を交付し、その後、出席者全員が自己紹介。

4 報告事項

(1) 保育料負担軽減について

○事務局から保育料の保護者負担の軽減について説明。(資料2は保護者に送っている通知。)

(2) 待機児童対策について

○事務局から資料3にもとづき今年度の待機児童について説明。

(3) 子育てほっとブック及び子ども・子育て支援新制度なるほどBOOKについて

○事務局から両冊子の主旨等について説明。子育てほっとブックについては、年明けから作成作業に入るので、ご意見等あったら事務局まで連絡いただきたいと説明。

(4) その他

○その他の報告事項はなし。

5 協議事項

(1) 子ども・子育て支援事業計画の進捗状況等管理票について

○事務局から進捗状況等管理票(計画の基本的事項)について項目をピックアップして説明。

各委員からの意見及び質問並びに事務局の回答

(委員)

学童保育クラブで待機児童が発生しているということだが、どこの地

域で、何人発生しているのか。

(事務局)

4名発生していて、三小学童2名、三小学童分室2名となっている。

(委員)

来年度開所予定で三小学童を建設しているとのことだが、今以上の受け入れが可能となるのか。

(事務局)

元狭山コミセンの裏側に用地を取得し、三小地区2施設を集約する形で建設を進めている。現在2施設で90名の定員となっているが、100名定員になるので、待機児童も解消できると考えている。4月1日には開所できないが、4月中には開所できる予定。

(委員)

こんにちは赤ちゃん事業で100%実施できたとなっているが、連絡が取れなかったり、訪問を拒む等が課題として挙げられている。どのような意味なのか。

(事務局)

こんにちは赤ちゃん事業は100%訪問できていて、その後の健診等での課題として挙げているが、保健センター、子ども家庭センターが連携していて、現在は全員に会えているとのこと。

(委員)

計画の基本的事項 P.15 の2事業が達成度Eとなっているが、準備はできていて、現在該当する方がいないから実施していない状況なので、達成度Eにするのではなく、ほかの表記にする検討をしてもらいたい。

○事務局から進捗状況等管理票（計画の体系）基本目標第1・2節について項目をピックアップして説明。

各委員からの意見及び質問並びに事務局の回答

(委員)

子育てほっとブックと民生委員等の活動支援に載っている子育てガイドブックとはちがうものか。

(委員)

子育てガイドブックには医療機関など身近な情報を掲載しており、民生委員が作っている冊子で、子育てほっとブックとは別に存在している。2年に1回発行している。

(事務局)

補足すると、ガイドブックは民生委員が子育て支援活動時に使用するため民生委員自身が作成している。それに対してほっとブックは町が作成している。それぞれが違う視点から作られている。

(委員)

配布方法はどうなっているか。

(事務局)

こんにちは赤ちゃん事業で訪問した先や住民課・福祉課の窓口等で手続きに来た人に渡している。ブックスタンドには置いていない。

(委員)

数に余裕はあるのか。

(事務局)

多少の余裕があるので、子育て世帯が集まる場所に置くようにしたい。

(委員)

もらえなくても、閲覧できるようになっていればよい。

(委員)

内容が重複している部分があるので、住み分けができればよいと思う。

(委員)

ガイドブックは医者情報も載っているので、これを見て助かる人は多いのではないかと思う。

(委員)

うちの保育園では、保護者には何かあれば園医に診てもらえばいろいろ相談にものってくれると伝えている。

(事務局)

ホームページもリニューアルされて、各担当課で更新できるようになり発信力が上がっているので、積極的に活用していきたい。それに加え、情報誌等を広く閲覧できるように公共施設等に設置するなど

考えていきたい。

(委員)

父親の育児参加が課題と挙げられているが、町の大きなイベントでブースを作れば、大勢の人にPRできるのではないか。また、イベント時に積極的にケーブルテレビを呼んで様子を放送してもらえれば大きなPRになると思う。

(委員)

残堀川イベント、産業まつりなどでは民生委員がひばりのPRをしている。

(委員)

こどもフェスティバルが町外からの来場者も多く、町の一大イベントになってきているので、有効に活用できれば良い。

(委員)

こどもフェスティバルは小さな子を連れた家族連れが多いので父親と子どもが遊べるブースを作ってもいいのではないか。

児童館でも父親が参加できるイベントを土曜日に企画しているし、ひばりでも土曜日にイベントを企画しているようなので、父親の参加が増えることを期待している。

ただし、父親のみ参加のイベントだとなかなか参加してもらえないので、家族みんなで参加できるようなイベントを企画できれば良い。

○事務局から進捗状況等管理票（計画の体系）基本目標第3節について項目をピックアップして説明。

各委員からの意見及び質問並びに事務局の回答

(委員)

放課後子ども総合プランは今年度策定したということか。

(事務局)

昨年度計画は策定していて、今年度は計画に基づいてどのように進めていくかという段階にきている。

(委員)

関係各課の連携がないとはどういうことか。

(事務局)

社会教育課が中心で進めているが、なかなか進められていない状況と聞いている。放課後子ども総合プランは学童と放課後子ども教室を一体化して、子どもたちの放課後の居場所を作るという事業だが、放課後子ども教室でもボランティアの確保が難しく事業の継続が厳しい状況であるし、総合プランでの事業の参加費の設定など、どのように融合させていくかなど課題が多いが、その話し合いがまだ進められていない。

(委員)

以前、放課後子ども教室の子どもたちが、学童に行って合同の事業を開催したことがあったが、この総合プランは、それと同じような事業だと思うので、計画がある以上はぜひ進めていただきたい。

(委員)

この事業は国や都から降りてきている制度か。

(事務局)

そのとおり。

(委員)

前の事業の時は、役場の各課が縦割り過ぎて連携がなかったという記憶があって、放課後子ども教室の先生と学童の先生の間でも情報共有もないような状況だった。そのような状況だと参加している子どもが危険なのではと感じた。また、社会教育課と学童を担当している福祉課がどのように協力しているのかが全く見えなかったので、いつまでたっても進まないと感じた。

(委員)

平成31年度までという区切りがあるとのことだが、今の話を聞いていると厳しいのではないか。

(委員)

子どもたちに有効活用されそうな場になるというイメージが全くわからない。

(事務局)

今後、社会教育課・教育課・福祉課で話し合いの場を持って、計画を進めていきたい。

(委員)

今日、児童館で話を聞いたところ、今年度から学童の運営を始めたNPO法人が、現在、学童の運営で精いっぱい状況であるし、児童館自身も三小学童の建設で精いっぱい状況で、計画を進めていかなければならないことは十分理解しているが、今はその余裕がないと係長が言っていた。また、準備期間も含めて今年度末までには話し合いの場を作りたいとも言っていた。

(委員)

三小学童の建設は、この計画が作られる前から計画されていたものか。

(事務局)

この計画の後に三小学童の建設が計画された。

(委員)

放課後子ども総合プランの事業を盛り込んだ形での建設計画になっているのかが気になった。

(事務局)

そこまで盛り込んだ建設計画にはなっていない。学童の待機児を解消するための建物となっている。

(委員)

他の自治体でモデルとなるような事業を実施していれば、瑞穂町で当てはまるかはわからないが、その情報を集め、参考にして、瑞穂町にあった事業を実施できるように進めていければよいのではないか。年度末までには何らかの動きがあるようお願いしたい。

P.25にある子ども会について、運営がたいへんで休会しているところもあると聞いているが、現状はどのようになっているか。

(委員)

現在全体の1/3くらいが休会となっていると思う。

(事務局)

41団体中16団体が休会中であると確認した。特に長岡地区は4団体中3団体が休会中とのことだった。

(委員)

育成会がなかなか成立せず、町内会の会長が育成会の会長を兼任している町内もあると聞いている。また、子どもも習い事等で子ども会の

行事と重なってしまうことにより、子ども会に入らないという状況も発生している。

(委員)

子ども会に入っていたが、親が町内会を辞めたことによって、子ども会にも居づらくなり、辞めてしまうケースがある。子ども会と町内会が合同で事業をしないと人が集まらない。

(委員)

地域でのつながりを持ちたがらない若い世代が増えてきている。町内会と子ども会について何か新しい仕組みを考えていかなければならない時期に来ているのではないか。

(委員)

先日行われた元狭山コミセンのコミセンまつりでも、校庭でサッカーをやっていて、地区の行事とスポーツクラブの活動が重なっている。

(委員)

地域の中で横のつながりがなく、自分たちの利益を求める若い年代と年配の世代の連携がうまく取れていないように思う。そこをどのように連携させていくかを考えていかなければ変わっていかない。

(委員)

地区とサッカークラブや少年野球などの間を調整できる方がいてくれるといい。

○事務局から進捗状況等管理票（計画の体系）基本目標第4・5節について項目をピックアップして説明。

各委員からの意見及び質問並びに事務局の回答

(委員)

現在町で設置している防犯カメラは何台くらいあるか。

(事務局)

台数までは確認していないが、通学路を中心に設置されている。

(委員)

防犯灯のLED化については、順次切り替えていくと聞いている。

(委員)

公園の遊具について、ニーズに適した遊具を設置する必要があるとな

っているが、そのニーズはどのように掴んでいるのか。

普通の遊具が置いてある公園より、少しだけでも、今までにないような遊具が設置してある公園に子どもたちは集まるようなので、せっかく設置するのであれば、ニーズを本当に聞いてから設置してほしい。

(委員)

長岡コミセンの隣の公園も遊具があるが、小さな子どもが遊べる遊具がない。要望を出したことがあるが、検討してもらったのか、予算がつかなかったのか、まだ変化がない。

(委員)

全体を通して、他に何かあるか。

(委員)

章によって達成度の高低が見られるので、達成度の基準について、客観的な尺度が必要。

(委員)

P.7の病後児保育について、以前実施できる方向まで進んでいたが、実施には至らなかった経緯があったり、ファミリー・サポート・センターでも少しの熱であれば料金は多少上がるが預かってもらえるようになっていると思うので、達成度をEにしなくても良かったのではないか。

8 情報交換

会議に参加した感想等について各委員から一言ずつもらった。保育園での保育士不足問題、保育士確保のための施策(家賃補助)、移動児童館や児童館事業の参加方法、子育て情報のインターネットでの情報提供、子育てナビ ワクワクみずほについて情報交換を行った。

9 閉会